

第1章 地震の発生と被害

1. 平成7年兵庫県南部地震の発生

1月17日午前5時46分に発生した阪神・淡路大震災は、M7.2という強大な都市直下型地震であった



▲震災前の三宮付近

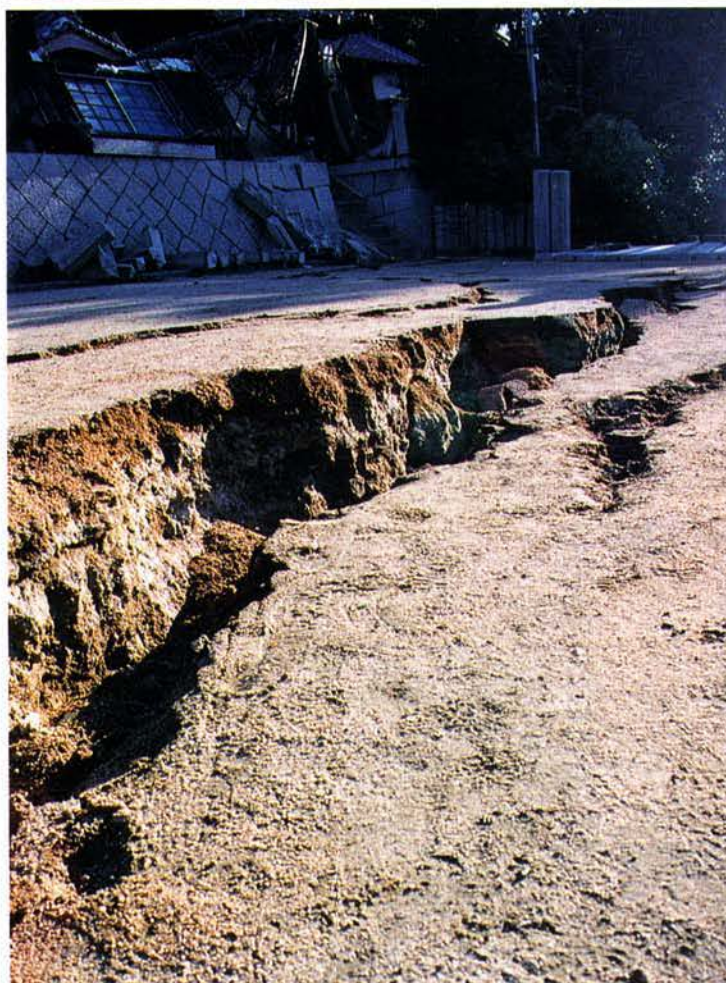


▲地震発生時間を刻んだままの明石市立天文科学館（明石市）

2. 淡路島野島断層 地震によって生じた断層の露頭が約8kmにわたって認められた



▲震源地：津名郡北淡町（淡路島北部）



◀ 寺境内の断層（北淡町）

▼断層上の民家（北淡町）



3. 阪神高速道路3号神戸線の の被害状況

阪神・淡路大震災の激震7の揺れは、高速道路の
安全神話を完全に崩壊させた

◀約600メートルにわたり倒壊した
阪神高速道路（東灘区深江本町）

▼激震を物語る阪神高速道路橋脚の被害（東灘区深江本町）



▲急ピッチで撤去作業が進められる阪神高速道路倒壊部分（東灘区深江本町） 9



▲阪神高速道路を走行中地震にあった車両（西宮市）



▲危機一髪で転落を免れたスキーバス（西宮市建石町）



▲国道43号を走行中、阪神高速道路の下敷きになったトラック（西宮市市庭町）



▲同 上（東灘区深江本町） 11



▲阪神高速道路から転落後、炎上したトラック（西宮市）



▲押しつぶされた阪神高速道路橋脚（東灘区）

4. 火災現場・復興状況 古い木造家屋の密集した地域で発生した火災は、瞬く間に延焼・拡大した



▲地震直後発生した火災（灘区国道2号沿い）



▲地震当日、神戸市内各地で火災が同時多発した（長田区周辺） 13



▲長田区菅原商店街アーケードの火災跡（2月）



▲同 上 3月26日の状況



同 上 4月20日の状況 ▶



▲長田区菅原市場の火災跡（2月）



◀同 上 3月26日の状況



▲同 上 4月20日の状況 ▲



▲火災は、消火活動の限界を超えた（長田区）



▲家族の遺骨を探す人（長田区）



▲延焼中の火災（須磨区）



▲焼け跡に供えられた花



▲少しずつ復旧する町（長田区）

5. 家屋等の被害状況

古い木造家屋や1階部分が店舗・駐車場になっているマンションが多数倒壊して道路を塞いだ



▲芦屋市内の民家



▲灘区内の民家



▲東灘区内の民家



▲東灘区内のマンション 17



▲須磨区内の商店



須磨区内の工場

北淡町の民家 ▶



▲明石市内の土堀



▲宝塚市内のマンション



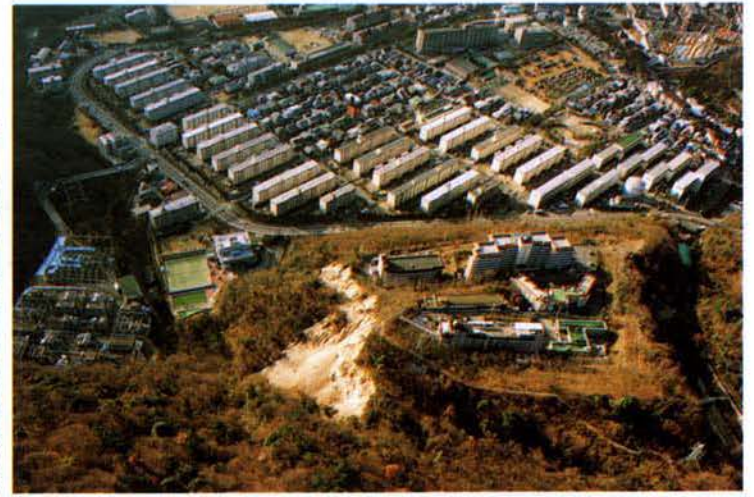
▲新築されつつある民家（東灘区）

6. 崖崩れの状況

六甲山麓では、崖崩れによる家屋や道路の損壊がみられた



▲垂水区内住宅地の崖崩れ



▲灘区内の崖崩れ



▲宝塚市内の道路を寸断した崖崩れ



▲東灘区内の道路を寸断した崖崩れ

7. 港湾施設の被害状況

世界有数の港もほとんどの岸壁が崩壊して機能を停止した



▲神戸港中突堤の亀裂



▲中突堤基部の割れた岸壁



▲弁天浜付近の陥没した岸壁



▲神戸港第七突堤の倉庫の被害



▲中央区港島の地盤沈下



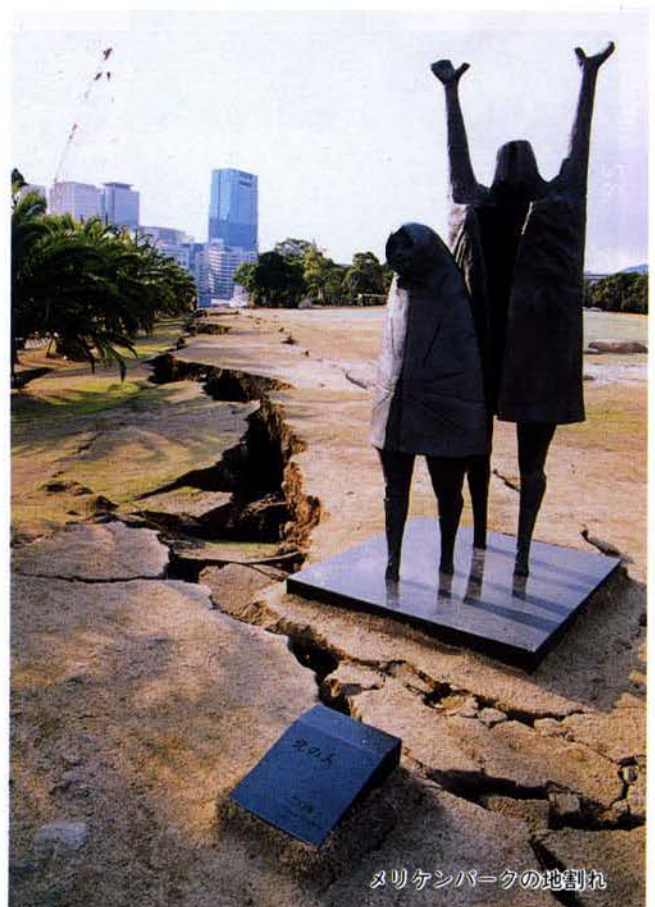
▲ポートアイランド：K-CAT付近の地盤沈下



▲神戸港コンテナの被害



六甲アイランドの倒壊したガントリー・クレーン
(神戸市広報課提供)



メリケンパークの地割れ

8. 液状化現象と地盤沈下の状況

港湾部等の埋立地では、広い範囲にわたって液状化現象が発生し泥水の噴出と地盤沈下が起こった



▲液状化の後には砂漠となる（中央区港島）



▲中央区港島の地盤沈下

▲液状化で噴出した砂（中央区港島）



▲メリケンパークの液状化

9. 三宮ビル街の被害と復興状況



▲倒壊した神社（中央区）

激震7の地域では地震に強いと思われていたビル群も多数被害を受け、旧式ビルの中には倒壊するものも多かった

本震で傾いたビル：翌日余震で倒れる ▶



▲1階部分がつぶれて傾いたビル





▲生田新道付近



▲倒壊した私鉄の三宮駅ビル



▲東門街



▲三宮センター街



▲倒壊した劇場ビル



▲中央部分がつぶれたオフィスビル



▲百貨店



▲百貨店



▲銀行ビル



▲倒壊したスーパー



▲4階部分が崩壊したオフィスビル



▲神戸市役所 2号館



▲中華料理店



▲さんプラザ



▲3階部分がつぶれたオフィスビル

交通センタービルの復旧状況



▲震災直後



▲4月10日



▲2月14日



▲6月17日



▲3月15日



▲7月1日 27

10. ライフラインの被害状況

地震による、電気、ガス、水道、電話等の途絶は、市民生活に大きな影響を与え、復旧が急がれた



▲神戸市内の電柱倒壊状況▶



▲水道の復旧作業



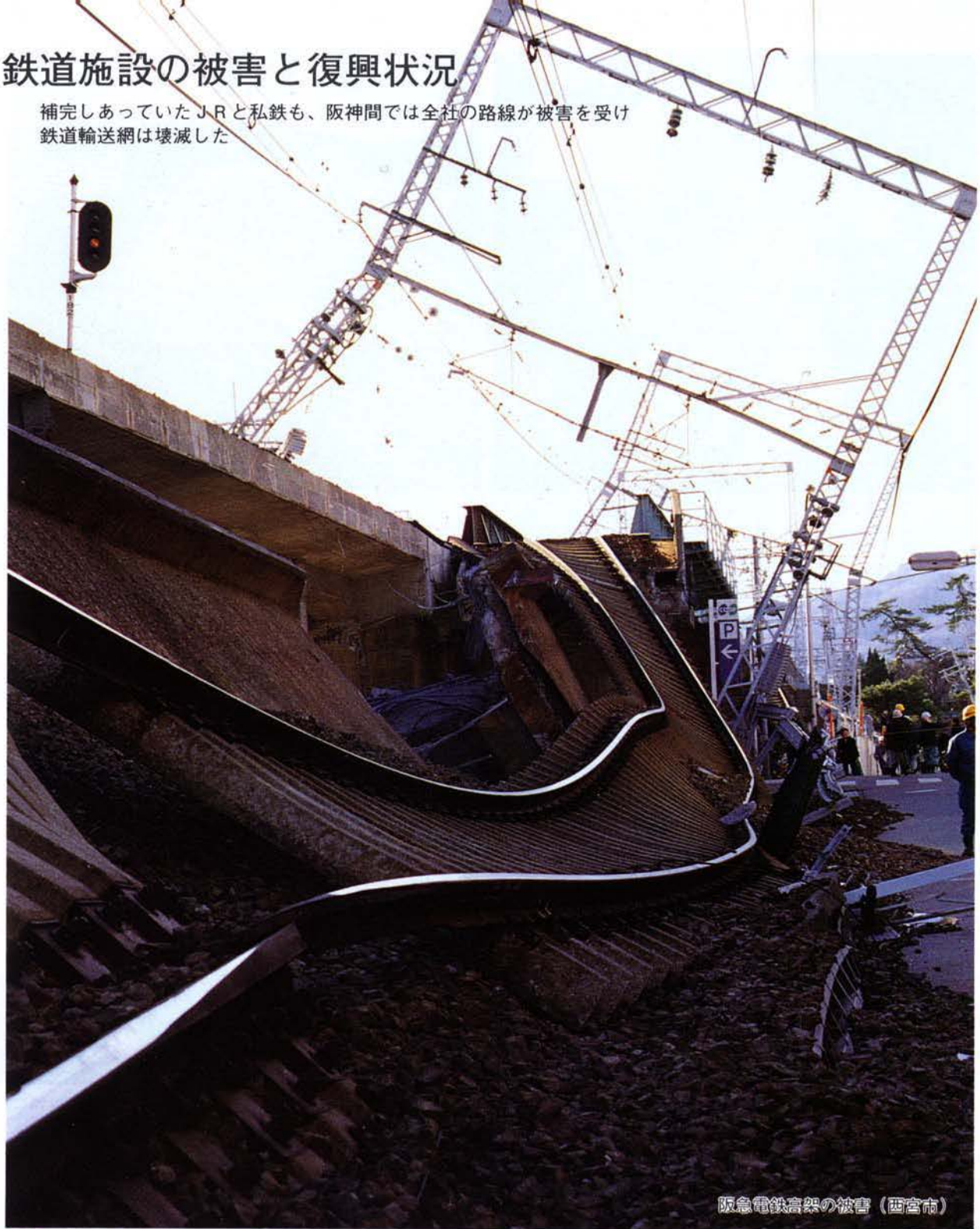
▲電気の復旧作業



▲警視庁給水車による給水

11. 鉄道施設の被害と復興状況

補完しあっていたJRと私鉄も、阪神間では全社の路線が被害を受け
鉄道輸送網は壊滅した



阪急電鉄高架の被害（西宮市）



▲脱線した阪神電車（灘区）



▲阪神電鉄高架の被害（灘区） 29



▲ JR 六甲道駅



▲ JR線は、4月1日に完全復旧



▲ 神戸高速鉄道大開駅（地下）崩壊による道路陥没



▲ 六甲ケーブル線路に落下した巨大石



▲ 六甲ライナー高架の落下



▲ ポートライナー：7月31日開通

第2章 災害警備活動

第1. 災害警備本部 1月17日午前6時15分に設置され、救助活動や交通対策等応急対策を指揮した

1. 災害警備本部の設置と活動状況



▲滝藤本部長と災害警備本部の幕僚



兵庫県警察の災害警備本部 ▶



◀災害警備本部に貝原知事の
激励訪問を受ける（1月24日）



▼災害警備本部要員の活動▶



▲▼兵庫警察署警備本部



▲西宮警察署警備本部



2. 死者の発表状況

災害警備本部前の壁面はたちまち手書きした発表用の模造紙で覆われた



▲死亡者名簿の貼り出し▲

3. 救護所の開設状況

災害警備本部に設置された「兵庫県警察救急救護所」は、警察官のみではなく、市民の診療も行った



生田庁舎に開設された救急救護所▶

4. 各種相談所の開設状況

全国から殺到する安否照会に対処するため、24時間体制の各種相談所を開設した

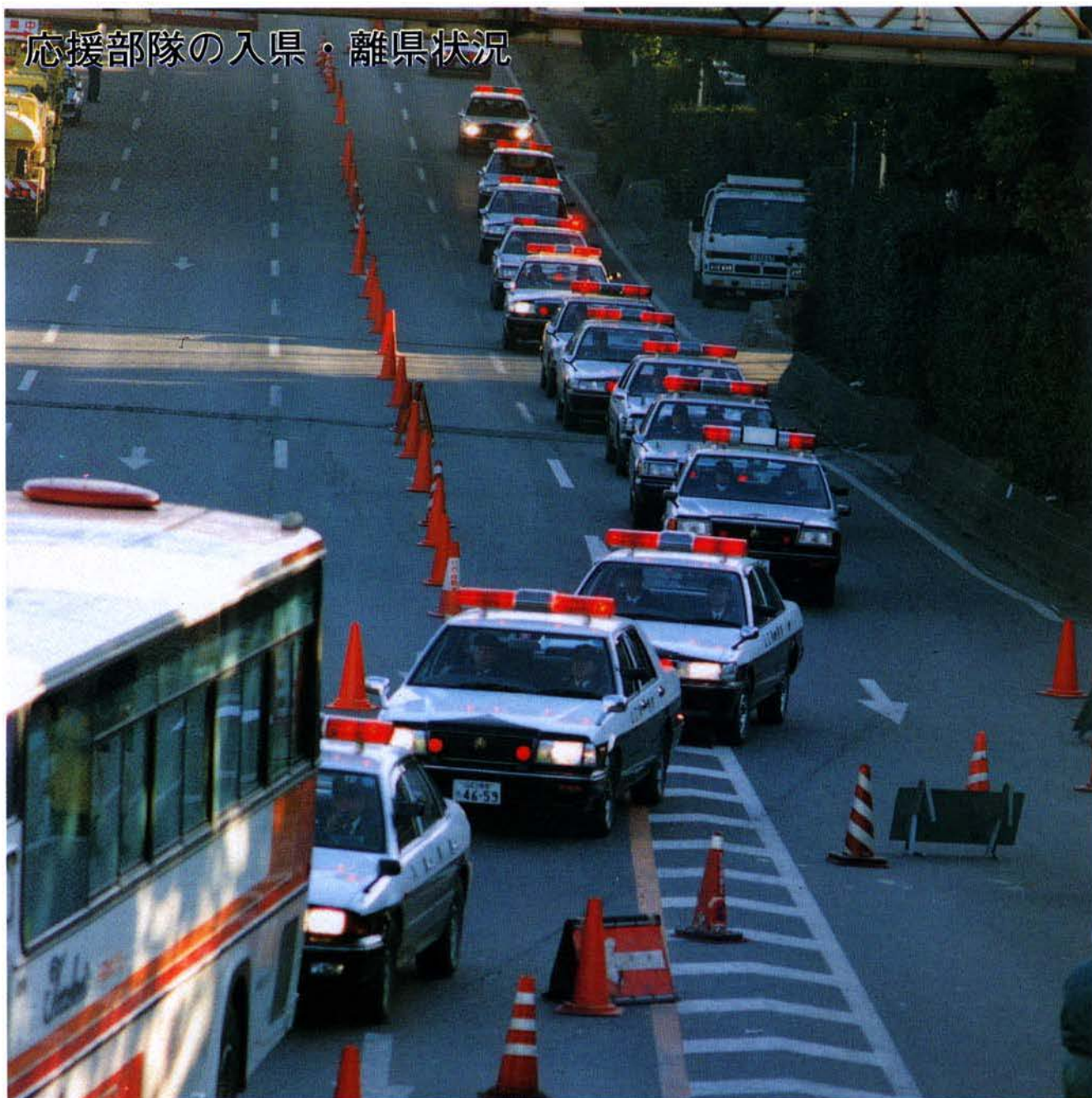


▲行方不明者相談所



▲外国人相談コーナー

5. 応援部隊の入県・離県状況



▲全国から応援に駆け付けたパトカー

震災直後から兵庫県へ向け全国警察の特別派遣部隊が出動した



▲中国管区機動隊の入県

九州管区機動隊の入県 ▶





▲福岡県警察機動隊（長田署）



▲警視庁機動隊の離隊式（兵庫署）



▲神奈川県警察機動隊の離隊式（中央区）



▲東北管区機動隊の離隊（兵庫署）



▲最後の応援部隊：中部管区機動隊・京都府警察機動隊の離隊式（警察学校）



▲近畿管区各府県警察交通機動隊の離隊（警察学校）

6. 応援部隊の活動状況

兵庫県に到着した特別派遣部隊は、救助・捜索活動、交通対策、パトロール等の治安対策に活躍した



▲捜索活動中の大阪府警察機動隊員



▲待機する中国管区機動隊



▲交通整理中の熊本県警察機動隊員



▲被災地を自転車で移動する警視庁機動隊員



▲長田区での滋賀県警察機動隊員



▲移動する岡山県警察機動隊



▲派遣先を確認する三重県警察部隊員（伊丹空港派出所）



▲機動警ら中の熊本県警察パトカー



▲集団パトロールする北海道警察部隊員



▲待機する富山県警察部隊



▲和歌山県警察パトカー



▲交通整理する徳島県警察部隊員（岩屋交差点） 37



▲被災地へ向け急行するパトカー部隊



▲沖縄県警察派遣車両



▲西宮市の崖崩れ現場で捜索にあたる愛知県警察機動隊員



▲倒壊したビルを捜索中の警視庁機動隊員



▲次の任務へ向け車両を洗う山口県警察部員



▲夜間パトロールする新潟県警察部員

第2. 現場活動

1. 各地の救出・搜索活動

倒壊家屋や焼失家屋での救出・搜索活動は長時間を要し、困難を極めた





▲兵庫県警察機動隊による救出作業（兵庫区）



▲広島県警察機動隊による捜索活動（兵庫区）

遺体収容（須磨区）▼





◀エンジンカッターによる障害物切断作業▶
(兵庫県警察機動隊・兵庫区)





▲1階部分が倒壊した
兵庫警察署の搜索活動
(兵庫区)▶



現場指揮中の警察庁藤田上席警備指導官(長田区)▶





▲1月20日：生存者救出



▲火災跡の行方不明者搜索活動



▲生存者の救出作業（西宮市） 43



◀火災跡の搜索活動（長田区）

崩壊した木造アパートでの搜索活動（長田区）▶



▼火災跡での搜索活動（長田区）





▲火災跡の搜索活動（長田区）



◀ 遺骨収集作業（長田区）▲



▲ 搜索活動（中央区）



▲ 警察・自衛隊合同による搜索、遺体収容作業



▲ 車中での作戦会議



◀ 搜索、遺体収容活動（芦屋市）▼

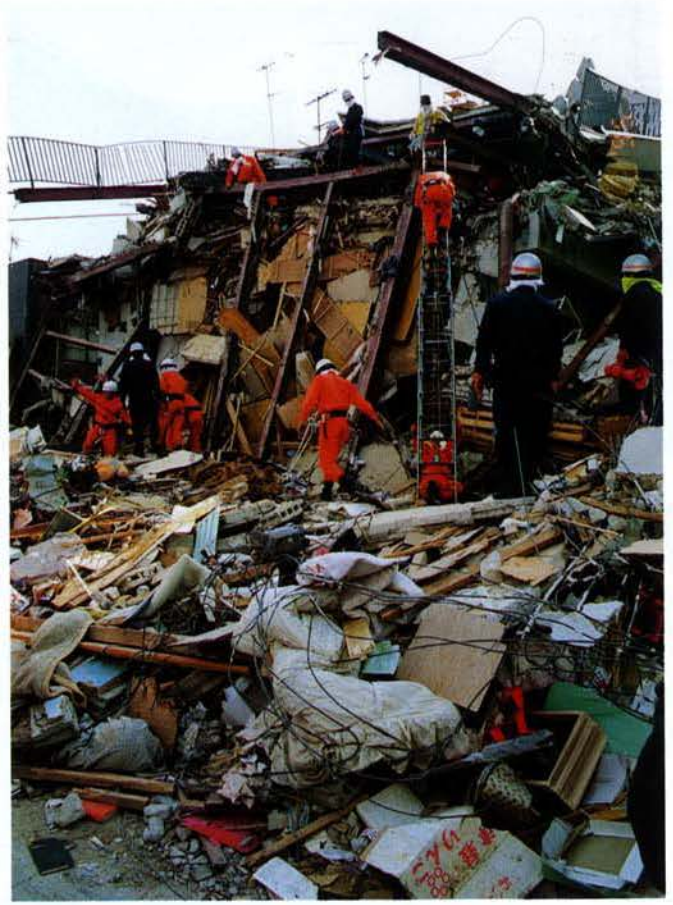


▼ 遺体発見・合掌（芦屋市）





▲遺体搬出（灘区）



▲搜索活動（東灘区）



◀ 搜索活動（灘区）



▲ 搜索活動（津名町）



▶ 搜索活動（東灘区）



◀ 救助活動（北淡町）



▲搜索活動（西宮市）



▲搜索活動（長田区）

2. 仁川百合野町の救出・搜索活動

ぼう大な量の土砂が崩れた現場
では34人もの犠牲者を出した



▲川を埋め、対岸の家をのみこんだ崖崩れ



▲警視庁レスキュー隊による救出活動 51



レスキュー隊の活動は、延々と続き、
34名の遺体を収容する



遺品から身元を割り出す愛知県警察機動隊



救出作業中の警視庁のレスキュー隊員



▲復旧作業が進む現場（5月20日）

3. 検視活動

時を経るごとに増加していく犠牲者に、安置場所や棺の確保など検視活動は困難を極めた



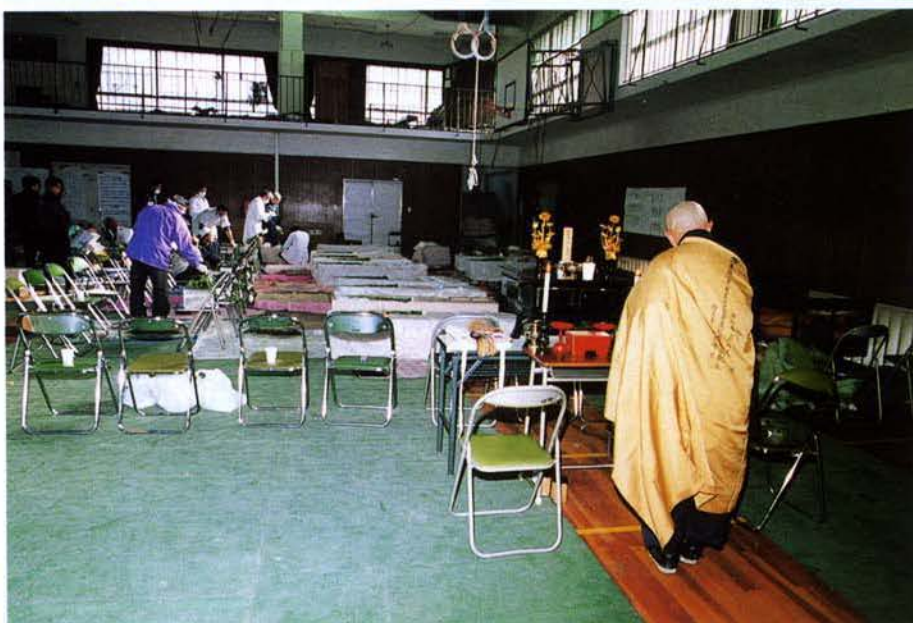
▲検視のための遺体搬送



棺作りに追われる警察官



須磨寺に安置された身元不明遺体



▲読経の中、黙々と続けられる検視

検視、身元調査活動



▲歯科医、監察医と共同しての身元確認作業

4. 緊急交通路確保のための警察活動

高速道路が不通となり、多量の車両が流入する主要道路では、通行禁止等により緊急交通路を確保した



▲中央区、NHK 前交差点



▲須磨区・国道2号若宮交差点での交通規制状況



▲須磨警察署前での交通規制（須磨区）



▼国道2号での交通規制（灘区）▶



▼芦屋市



▲許可車以外の車両 通行を規制（中央区）



▶三宮方面へ流入する車の渋滞（中央区）



▲岩屋交差点（瀬区）



▲トアロード・NHK 前交差点（中央区）

国道2号、43号等の主要道路では、警察官による交通規制を行って交通秩序を維持した



▲瀬区



▲瀬区



▲中央区



▲西宮球場前（西宮市）



▲兵庫区



▲東灘区



▲中央区



▲中央区



▲三宮交差点での交通整理（中央区）



▲ 尼崎市内での交通規制



▲ 高速道路通行止めを知らせる情報板（尼崎市）



▲ 中央区、生田川交差点



▲ 中央区、三宮交差点（1月29日）



▲ 中央区、三宮交差点（7月28日）



▲ 灘区、国道2号

5. 緊急物資輸送

全国から送られた被災地向けの緊急物資は、陸・海・空の各ルートにより輸送され、警察はパトカーによる先導を行った



▲緊急物資輸送トラックを先導するパトカー（中央区）



▲緊急物資輸送中の警察ヘリ（灘区）



▲緊急物資輸送中の消防ヘリ（灘区）



▲緊急物資を輸送してきたトラック（長田区）



▲船で搬送される物資（中央区）

6. 集団パトロール

被災地では治安の確保と二次災害防止のため、昼夜を分かたずパトロールが行われた



▲崖崩れ現場をパトロール（東灘区）



被災者と話す機動隊員（兵庫区）▶



◀被災地の建物にも注意（兵庫区）



▲夜間パトロール（中央区）



▲住宅街でのパトロール（東灘区）



▲菅原市場付近の被災地パトロール（長田区）



▲繁華街（東門筋）でのパトロール（中央区）



▲仮設住宅をパトロール（津名町）



▲亀裂の入ったえん堤を点検する（一宮町）

7. 通信部隊の活動

NTTの通信網が途絶するなか警察通信網は生残り、情報の収集・伝達等に威力を発揮した
全国の機動通信隊が出動した



▲災害警備本部内 通信班



▲災害警備本部に設置された衛星通信車



▲生田庁舎の配線作業

8. 外国部隊の活動

今回の震災では、全国で初めてフランスなど外国の救助部隊が活動した



▲イギリス・レスキュー隊（中央区）



▲フランス・レスキュー隊（灘区 JR 六甲道駅）



▲フランス・レスキュー隊（西宮市）



▲フランス・レスキュー隊（兵庫区） 65

9. 自衛隊・消防の活動

警察と同じく、消防や自衛隊も全国から応援部隊が来県し活動した



自衛隊員による捜索、遺体収容活動（中央区）



他自治体から応援の消防車・救急車（長田区）



自衛隊の解散式（稲区王子陸上競技場）



物資輸送ヘリを誘導する自衛隊員（稲区王子陸上競技場）



▲負傷者を搬送する救急隊員（伊丹市）